

北九州市民の会ニュース

戦争法廃案をもとめる集会(10月19日)に500名

10月19日(月)18:00~19:30 小倉駅に500名が集まった。

戦争法が強行採決された先月19日に抗議して、私たちは毎月19日、戦争法廃案を求め街宣・市民集会を持つ。

国会前では9500名の抗議集会になったそうだ。「戦争イヤだ!」「安倍やめろ!」、今日も若者が元気なコールで、抗議行動をリードしてくれた。じっくり腰を据えて、国民連合政権を私たちの民主主義の力で実現しよう。

次回集会 11月19日(木)18:00~19:30
小倉駅デッキ。



「2015平和のための戦争展in北九州」は、連日盛会でした。

戦後70年、戦争法の廃案をもとめる広範な国民運動が高揚する情勢の下で、「第21回平和のための戦争展」が開催されました。

10月20日~10月25日 10:00~16:00 戦争資料・遺品展では、黒崎コムシティ3F 市民ギャラリーで、連日 ゆったり、じっくり見ていただけました。10月24日(土)は、10:30 「若者が動かす日本の平和と未来」は、小人数の参加でしたが、意欲

的な報告でした。午後13:30~16:00は、6人の戦争体験者からのお話でした。戦争の悲惨さと平和の貴さが心にしみました。25日(日)は、13:30~15:30、平和のうたごえを聞いたあと、メイン企画 若い気鋭の写真家 野中将男さんが「コバニ クルド人たちの戦い」を現地の写真を中心に生き生きと講演され、感銘を与えました。



平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail;koe@siminnokai.com

北九州市民の会ニュース

第35回自治体フォーラムが西南学院大学で開催されました。

10月25日(日)、西南学院大学にて、立正大学名誉教授(憲法学)の金子勝先生より、「戦後70年を根本的にとらえ直し、憲法が輝く未来をさぐる!」と題した記念講演がありました。

講演では、「第二次世界大戦後、今日までの70年間、自衛隊を海外派遣したが、日本は一度も『戦争』をしなかった。」から始まり、なぜ、戦争しなかったのか、今の日本は「平和」と「侵略戦争」の分岐点に立っていること、日本国憲法を開花させるためにはなど、これからの日本にあるべき姿を話されました。

以下に、講演内容の一部を紹介させていただきます。

日米安全保障条約については、アメリカがアメリカの敵を滅ぼす侵略戦争を起こしたときに、日本が軍事協力をする条約で、日本を守ることを目的にした条約ではないこと。日本は、侵略戦争(相手との交戦)に軍事協力することを、憲法第9条が阻止していたから、どの国も日本を攻撃してこなかったし、テロもなかったこと。

今、日本は、日本の経済・政治・文化・教育を支配して国民を統治する日本支配層が安倍内閣と自民党と公明党を使って、日本国憲法を蹂躪し、日本を如何なる戦争も如何なる武力行使もしない「『第9条』の国」から、日米安全保障条約体制に基づいて、アメリカに従属して、アメリカとともに世界中で侵略戦争をする「『安保』の国」に改めようとしていること。

日本国憲法を「全面的に開花」させるために、国民と国家と自治体が「非武装・非戦平和主義」となること。国家と自治体の統治権=主権の保有権者(主権者)を国民の集団とする「国民主権」を建設し、存立させること。国民主権を行使する国民を弾圧からまもるため、国家と自治体と国民が侵すことのできない基本的人権を建設し、存立すること。立法権は国会に、行政権は内閣に、司法権は裁判所に付与する制度を建設し、存立

すること。国民が国民主権を自己の生活現場で実現できるようにするために、また、国家の暴政から国民主権と基本的人権と非武装・非戦平和主義を守るために、地方自治を建設し、存立することが必要であること。

今後の予定

- ・第6回北九州社保学校
11月7日(土) 14:00
大手町地域交流センター
講演:吉永純氏(花園大学)
「人間らしく生きる社会保障とは」
- ・市民講座「マイナンバー制度」
11月14日(土) 14:00~
コムシティ子どもの館
- ・「九州うたごえ祭典in北九州」結成総会
11月15日(日) 13:30~
戸畑生涯学習センター
- ・平和をあきらめない~安保法制の廃止を求める市民集会
11月19日(木) 18:00~19:30
小倉駅デッキ 街宣・リレートーク等
- ・「さよなら原発!北九州連絡会」金曜行動
毎週金曜日 18:00~19:00 小倉駅前
- ・秘密保護法・集団的自衛権行使反対!土曜行動
隔週土曜日 11:00~12:00 小倉駅前

